

令和3年度

第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和3年度第5回 阿波市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年8月23日(月)  
開会 午後2時00分  
閉会 午後3時30分
- 2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	庄 野 憲 二
委 員	森 勝 正
委 員	重 清 由 充
委 員	大戸井 美 生
委 員	西 湊 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	石 川 久
教 育 次 長	瀧 川 靖 治
教育次長兼教育総務課長	森 友 邦 明
学 校 教 育 課 長	坂 東 明
社 会 教 育 課 長	伊 坂 典 恭
学校給食センター所長	矢 部 泰 世
(書記) 教育総務課主幹	滑 田 三 美

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 令和3年度教育委員会一般会計補正予算(第4号)について
- (4) 阿波市義務教育修了祝金支給要綱の制定について
- (5) 平成2年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (6) 準要保護の認定について
- (7) その他

会議の概要は、次のとおり。

【高田教育長】定例会を開会する旨を告げる。

議事に入りますが、議題の（３）は非公開としたいと思います。また、当該議案については、傍聴人には退席をお願いすることから、議事の日程を変更し、（１）（２）（４）（５）の後に繰り下げたいと思います。ご異議ございませんか。

【各委員】異議なし

【高田教育長】異議なしと認めますので、そのようにいたします。

（１）前回会議録の承認について

【高田教育長】会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

（２）教育長の報告について

【高田教育長】７月２９日から８月２３日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

（４）阿波市義務教育修了祝金支給要綱の制定について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【坂東学校教育課長】阿波市義務教育修了祝金支給要綱の制定について説明。

〈質 疑〉

【庄野委員】これは、これからも続くのでしょうか。

【坂東学校教育課長】今年はコロナウイルスの財源がございませぬが、来年からはございませぬ。しかし入学祝金等もございませぬので、それとワンセットという形で修了祝金も継続させていただきたいと考えております。

【高田教育長】「阿波市義務教育修了祝金支給要綱の制定について」を了承する旨を告げる。

(5) 平成2年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について

〈質 疑〉

【庄野委員】最初に言わせてもらいます。全体を見て令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のための事業中止がたくさんあったから、評価も非常に難しかったと思います。評価が下がっているところもありました。気がついたので教えてほしいのですが、まず最初に5ページ6ページの適応指導教室と学力向上支援事業が前年より減っています。たぶんコロナ関係で減ったと思いますが、学力向上事業なんかは、延べ人数の関係と金額が増えている減っている関係を教えてほしいのですが、どんなんでしょう。適応指導教室が令和元年度は316万だったのが、104万に減っていたり、学力向上事業が88万から37万に大幅に減っている、何か理由があるのかと感じました。

【伊坂社会教育課長】学力向上支援事業は、予算が88万3千円から37万5千円に下がっているのは、先ほどのコロナの関係で、遠足とか講演とかそういったレクリエーション的なものができていないということで、経費が下がった関係でおちています。参加人数については、4か所は変わってはおりませんが、延べ人数は令和2年度の方が上がっているというのは、登録人数が増えた関係と出席率が上がった関係で増えていると考えています。

【庄野委員】適応指導教室も、行事が減ったから予算が減ったのですかね。前年度を見てみたら、316万円くらいあったのが、104万の3分の1に減っているのでは何が減ったのかなど。人数も6名減っていますね。減り方が多いのでどうしたのかなと感じました。また見ておいてください。よろしくお願ひします。その適応指導教室ですが、令和2年度も入級者は小学生1名入っています。その前の年も入っていて喜ばしいと言っていたら途中でやめたのですが、令和2年度にしましてはこの1名はまだ来ているのでしょうか。どんなんでしょう。

【瀧川教育次長】小学生は、適応指導教室に通っておりません。

【庄野委員】小学生がなかなか行きにくい、定着しにくいと毎年課題になっているので、何とか小学生が来れるような手立てをこれからもしていただければと思います。31ページですが、学校給食の充実、昨年も重清委員さんからよくできているのに何でB評価なのかという意見があって、今年はAになっているのかなと思っていたら地産地消率は今年も60何%に上がっているのに、またB評価と厳しい評価をつけていますが、これA評価でいいのではないかと感じました。それと、これも毎年言っているのですが途中にも最後の重要施策の業績評価指標一覧表ですが肥満についてです。毎回言わせてもらって

いるのですが、令和2年度を見ると5年生は男子が14.2%、女子が8.1%で、女子については目標値を達成しています。毎年5年生を調査しているのですが、毎年対象者が変わっていています。下の6年生12歳の肥満度割合を確認してもらくと、6年生の肥満の割合は20.5%になっています。これは去年の5年生の子どもです。去年の5年生を見てみるとこれほどはなかったです。14.7%と12.9%だったのが20.5%になっているということは、肥満が増えているということですね。これは、その時その時で5年生を測っていると学年の様子によって違うので、継続経年評価でその学年を1年生の時からずっと調べていく。6年生まで追跡して調べていくということができれば、非常に子どもたちの変化がわかって、実績ができてきているのか、あるいは不十分なのかわかってくると思うので是非して欲しいと思います。特に去年度、今年度はコロナで運動量が絶対に減っています。それが肥満とかにも出てくるはずですが。その対策をこれからもっともっとしていかないといけないと思いますので、是非考えていただけたらと思います。以上です。

【高田教育長】ありがとうございました。ほかにございせんか。

【重清委員】順番に感想を述べたり質問もさせていただきます。11ページですが、この事業は子育て支援の充実です。令和2年度をもってこども園にすべてなっておりますので、ここの事業の方向性としては休止廃止を検討するとありますように、このページの事業は廃止になるのでしょうか。

【坂東学校教育課長】幼稚園教育というのがありまして、その通知であったり研修会何々というのは学校教育課へ来るんです。それを認定こども園であったり、未就学児にいかにつなげるかというのが問題になってきている部分があります。完全に廃止になってしまうと県とのつながりが一旦切れるようになってしまうので、そこを上手くつなげる方法を検討している最中です。

【重清委員】案内が学校に来て、それを子育て支援課と共有しながらという方がいいですね。切ってしまったら研修が受けられなくなりますね。

【坂東学校教育課長】公立私立もございまして。指導体制も必要だと思いますので、幼稚園教育の指導も大事だと思っていますので、一概には切り分けるわけにはいかないのかなと思っています。

【重清委員】ありがとうございます。次に14ページです。事業実績状況の中でコロナ禍における学校の新しい生活様式においてできる体力づくりを行ったとあります。肥満の予防にも体力向上指導員や阿波市スポーツ推進委員をしつかり役立ててほしいのですが、各学校で指導をいただいているのでしょうか。それとも希望校に体力向上指導員が派遣されるのでしょうか。

【坂東学校教育課長】希望校です。

【重清委員】先生の人数というか指導員というのは少ないのですよね。お一人ですか。

【伊坂社会教育課長】社会教育課に体力向上指導員が1名おりますので、低学年の希望校に行っています。

【重清委員】幼稚園も希望ですか。

【伊坂社会教育課長】民の認定こども園へは行かずに、公の認定こども園と小学校の低学年の希望校に派遣しています。それで運動遊びを教えています。

【重清委員】こういった先生がご指導いただくのは、肥満予防にもつながると思いますので、できれば各学校を回っていただけたらありがたいと思います。次に20ページです。ここの事業実績状況で、中学校では2年生で職場体験学習を行うとありますが、こういったコロナ禍の中で普段どおりの職場体験ができたのでしょうか。体験場所とか人数は限られたのでしょうか。

【石川教育部長】去年の実績はわかりません。

【重清委員】去年はコロナ禍でかなり制限があったように思うのですが、例年のような内容だったので、スムーズにいけたのかなと思ひまして。

【石川教育部長】たぶん何らかの制限はしていると思います。

【重清委員】生徒の体験したい職場が去年だったら叶いづらかったかもしれませんね。それと24ページ、これも何度かお聞きしたと思いますが、スクールカウンセラーというのは、各小中へ週に何回かということですか。週何回かで相談回数は多いのですか。児童生徒、保護者、先生方の相談はあるのですか。

【瀧川教育次長】スクールカウンセラーは、中学校区ごとに1名、週1回配置されて中学校に常駐しています。また、中学校区とは別に、阿波っ子スクールにも週1回常駐しています。

【重清委員】小学校はどうですか。

【瀧川教育次長】小学校でカウンセリングを受ける場合は、中学校に常駐していますので、中学校の担当と小学校の担当が調整をして日時を決め、面談を行うという形になっています。

【重清委員】希望があればですか。

【瀧川教育次長】そうです。

【重清委員】気軽に相談ができるような場面があつてほしいと思いますが、それは小学校でも気軽に相談を受け付けておりますので、申し出て下さいというような呼びかけはされていますか。

【瀧川教育次長】課題を抱えている子ども達がいる時に、担任なり養護教諭なりあるいは管理職なりがスクールカウンセラーとの面談を保護者に提案しています。

【重清委員】せっかく常駐してくだっているのであれば、気軽に児童生徒、保護者、先生方が相談できるような環境であってほしいと思いますので、よろしくお願いたします。それと27ページ。平成30年、令和元年、そして今年の令和2年と続いて小学生1名が日本語教育の支援を受けていますとあります。これは同じ児童が継続して支援を受けているのでしょうか。

【坂東学校教育課長】去年の小学6年生の子につきましては、年度途中で兵庫県の方から転入してきている児童でございますので、また別の児童と考えております。

【重清委員】指導をしてだいぶ一人で理解できるようになったため、また新たな子どもということですね。

【坂東学校教育課長】そうです。

【重清委員】1人であっても手厚く指導をしていただいているということで、評価がBですが、これはAとはならないのでしょうか。

【石川教育部長】概ねできている場合は、大体B評価になると思います。特にというのがかなり多い場合はA評価と考えているところです。

【重清委員】手厚くしてくださっているもので、ありがたいなと思います。28ページと30ページの通学路の点検は、今回しっかりスクールゾーンという表示があるかないかもチェックしていただきました。引き続き安全のためにお願いしたいと思います。32ページの事業実績状況で、中学校ではオープンスクールを開催したり、小中学校の交流を図ったり、部活動での合同練習を行ったり、こういうのも去年のコロナ禍の中では同じように行えたのか、回数が減ってしまったのかということをお聞きしたいのですが。

【瀧川教育次長】オープンスクールについては、実施できた学校とそうでない学校があります。新型コロナ感染防止のためです。市内の中学校では入学説明会とオープンスクールを兼ねまして、小学校6年生が中学校の授業を見たり、部活動見学をしたりしていました。ただ昨年度は、吉野中学校は12月に学校別ごとに実施できたと聞いていますが、あとの3校については、コロナ対策があったのでできていないと聞いています。また、部活動の交流については、例えば阿波中学校のバスケ部は、コロナ感染対策をしながら合同練習を何度かできたと聞いています。それから阿波西高校と阿波中学校・市場中学校との交流については、授業や人権学習、進路指導などで、教員間交流ができたと聞いております。

【重清委員】ありがとうございます。ほとんどできない中でそういうことができるのととてもありがたいと思います。

【瀧川教育次長】回数は少し減っていると思いますが、工夫しながら実施してい

ただいております。

【重清委員】ありがとうございます。35ページ、GIGAスクール構想に伴う環境整備が着実に進んでおり、良いネット環境の下ICT活用授業が日常化できればと思っております。事業実績状況ですが、小中の手洗い場自動水栓改修工事の中で、吉野地区、土成地区、市場地区とありますが阿波地区はなかったのでしょうか。

【森友教育総務課長】阿波地区は繰越になりまして、1回入札が流れましてその関係で、4月26日に竣工して終了しています。

【重清委員】今年度に。

【森友教育総務課長】すぐに終わったのですが、工期が1月からだったので、それとあの時の自動水栓を阿波市だけでなく県内あちこちで自動水栓にしていたので、在庫がありませんでした。最終的には4月26日に繰越して完了しました。

【重清委員】ということは、来年度に阿波地区の改修工事は載るということですね。

【森友教育総務課長】そういうことです。

【重清委員】ありがとうございます。45ページ、目標達成値は十分できているのでAになっているのに、コロナ禍の中でこういった講座で市民のニーズが反映されたのかということで、できましたら事業実績状況の中で内容を記載していただいたら良かったと思います。よろしく願いいたします。63ページは感想になりますが、事業実績状況を見せていただくと青少年の非行防止と健全育成のため、いろいろな活動をしてくださっていることをありがたく思います。中でも有害図書の回収と相談件数の多さに驚いています。今後とも引き続きよろしく願いいたします。64ページも感想です。コロナ禍において全ての行事が中止になるのではなく、安全な対策を取りながら実情に応じた活動をなされていることがよくわかりました。とても詳しく書いてくださっていたので、子ども達の活動がよくわかって良かったです。65ページは質問ですが、中学校を対象にした講演会、年1回の実施ですが、コロナで中止になった場合、阿波中学校が中止になったのですが、次回行われる時は阿波中学校で開催されるのですか。

【伊坂社会教育課長】今年度も阿波中学校で予定をしております。ただ、コロナの関係で開催できるかどうかわかりませんが、計画をしていく段階です。

【重清委員】お願いいたします。できるだけ対策を強化して行えればありがたいのですが、難しい部分ですね。68ページ、各園において健康教育参観日とありますが、これはコロナ禍の中、行えたのでしょうか。正しい生活リズムの定



着においては大切なことですが、これもまた聞いておいてください。こういう健康教育の参観日は大事ですので、コロナ禍の中、中止であったら、次回は是非ともお願いしたいです。よろしくお願いいいたします。69ページも質問で、情報提供のところですが、中止のお知らせも入れられておりますよね。

【伊坂社会教育課長】そうですね。

【重清委員】木工教室は行ったのですか。中止だったのですか。

【伊坂社会教育課長】中止でした。

【重清委員】お知らせはあったけど、コロナ禍のなかで中止をいたしますというお知らせもあるんですね。

【伊坂社会教育課長】はい。情報提供をします。

【重清委員】ありがとうございます。74ページ75ページをお願いします。スポーツ少年団の指導者の人数ですが、事業実績状況で74ページ令和元年度は207名いらっしゃったのですが、令和2年度は148名に減っております。これはコロナ禍で資格講習が受講できなかったからでしょうか。

【伊坂社会教育課長】やはりコロナの関係で大きな影響が出ていると思います。

【重清委員】できるだけ増える方向ですけど、資格講習がなければ仕方ないですよ。ありがとうございます。それと79ページの幼稚園からの英語活動で、具体施策で、幼稚園で英語指導講師・ALTによる英語活動を実施するとありますが、こども園になってからは各こども園で指導する英語講師が配置させているのですよね。教育委員会の方の英語講師が行くというのは、幼稚園の時はありましたが、こども園になってからは違うのですよね。

【石川教育部長】はいそうです。

【重清委員】ありがとうございます。最後の表です。上から気になった数値を見せていただいているのですが、小学校の英語活動事業で、進んで参加する児童の割合が令和元年度は91%であったのに、令和2年度が63%になっているのはどういったことでしょうか。子どもの気持ちですか。

【瀧川教育次長】現在の学習指導要領では5、6年生の英語が教科になりました。そのため、今までは外国語活動で楽しい活動が多かったのですが、書く力や読む力を付けなくてはならないことが原因だと考えられます。

【重清委員】阿波市は1年生から楽しく学んでいますので、少しずつ英語の力がついてきて、その流れで教科化になったので、少しずつ読み書きができるようになっていたと思っておりましたので、ここまで下がるとは思っていませんでした。できるだけ楽しくしっかり身につけるような工夫も必要なのかなと思います。

【瀧川教育次長】おっしゃるとおりで、小学校は英語の専門でない担任が指導し

ますので、指導力の向上が課題となっています。

【重清委員】 そのために、小学校は英語講師の方がいらっしゃいます。

【瀧川教育次長】 おっしゃるとおりです。

【重清委員】 阿波市が小学1年生から英語活動を始めた当初は、小学校の英語講師の先生が担任の先生と一緒に授業を進めていましたが、途中から担任主体ということになって担任の先生のご負担が大きくなり、大変であることはわかるのですが、同時に講師先生にもより一層サポートいただき、多くの児童が英語に親しんでほしいと思います。

【瀧川教育次長】 阿波市は英語講師が配置されているので、英語講師のサポートを受けながら担任の先生が力をつけていくことは、すごく恵まれていると思います。英語講師の利活用は図っていきたいと思っております。

【重清委員】 こんなコロナ禍のなかで、マスクをつけながらの授業であったら、余計に英語の授業の楽しさが減っていくのも確かだと思います。少しでも実績値が上がるように頑張っていたきたいと思います。それから、子ども体力アップ事業ですけれども、庄野委員がおっしゃられたとおりで、小学校5年生の肥満割合を出していますが、前回より、子どもさんが違っているので男子も女子も数値が減っていますが、12歳児の6年生の肥満の割合は、数値をはるかに超えておりまして、深刻な状況だと思います。7月29日付の徳島新聞におかれまして、12歳男子の徳島県が全国ワースト1と大きく見出しで出ておりまして、本当にこれはどうにかしなければいけないと危機感を持っております。昨年もしましたが、学校では先生がこの数値をふまえた上で努力をされております。是非ともご家庭での食生活においてアドバイスや呼びかけを引き続きお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。また学校行事、PTA活動に参加している割合がコロナ禍でも目標値を達成しているので、家庭や地域との連携・協働の面で非常に熱心でありがたいと思います。PTAに参加されている割合が、大変高い目標値を達成されているので、引き続き子ども達に熱心に、家庭も地域も共同で頑張っていたきたいと思います。昨年より新型コロナウイルス感染症拡大によりまして、73事業のなかでも、講演や体験学習行事、研究大会、研修会が中止になりそのための総合評価がAからBになったものがあります。ですがそうした中でも対策をして市民の皆様、園児、生徒の皆さんのため努力されておられます。各事業におかれましては、1つ1つ細部まで見ていただき感想、要望、期待をあげていただいております。学識経験者のご意見をふまえられ今後活かしていただいきたいと思っております。ありがとうございました。

【高田教育長】 ありがとうございました。ほかにどうぞよろしく願いいたしま

す。

【大戸井委員】重清委員さんと同じことですが、新型コロナウイルスの影響によって事業に影響が出ているのかなと思いますが、少しお尋ねしたいのは、一番最後の表になります。2の2-3生涯学習プログラムの整備・提供というところで、登録者数が令和2年度は231名ということで、桁が違うので、これもコロナの影響ですか。講座数はむしろ増えていると思いますが。講座数が増えているのに桁が違うので、とても気になりました。

【伊坂社会教育課長】確認してみます。

【大戸井委員】全体的にコロナということですが、コロナウイルスも2年目に入りまして、今後未知のウイルスによるこういった制限は想定しておかなければならないということで、そうなった時の全体的な活動の在り方の研究というのは、不可欠になってくるのかなと思います。例えば図書館でも、図書貸出数がコロナ禍であれば増えてもいいのかなと思いますが、そんなに増えているように思いません。GIGAスクール構想にしても、本来のGIGAスクール構想になかった在宅での学びということに、大きなスポットライトをあびるようになりました。本来とは違ったところにも今度は手を伸ばしていかねばならないと。今後も未知のウイルスに対する対策は不可欠になっていくのかなと思いました。やられていることは評価もそのとおりに思いますし、すばらしいと思います。今後はそういった点に目を向けていただけたらと思います。あと三木武夫さんの事業があったと思いますが、郷土の偉人にもう少しスポットライトをあてていただいて、入館者数が少ないようでございますので、三木武夫さんは誰ということがないように、そういった教育というか子ども達に知らせていくことも大事かなと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

【伊坂社会教育課長】先ほどの人数のことですが、登録者数のところは実際の受講者数を拾っています。参加人数です。コロナの関係で講座も縮小又は中止したり参加者もコロナの影響で参加を控えているところから、4分の1くらいになっている状況となっています。

【大戸井委員】これも結局コロナということで、集まって何かをするということができなくなる時に、集まれない時にリモートもそうですが、できるような何かを対策を取っていかないといけないと思います。よろしくお願いいたしますと思います。

【高田教育長】ありがとうございました。ほかにどうでしょうか。

【西淵委員】皆さんの意見とほとんど同じで、全体的な感想は、やっぱり事業の中止ばかりでなく、このような状況の中どうやって対策をして行かか、これ

からも続きそうなので強く検討して行ってほしいと思います。何点か気になるところがあるので質問をお願いします。6ページのMyメニューのコンクールですが、応募数が極端に減っているのはどうしてでしょうか。

【矢部学校給食センター所長】令和2年度が251点です。

【西渕委員】昨年が800点を超えています。夏休みの宿題ですね。縮小に何か原因があったのかなど。

【高田教育長】その件についてよろしいですか。本来は、夏休みの期間に親子でこういったことを考えるいわゆる夏休みの宿題だったのですが、ところが夏休みに登校日が多くなりました。最初はしない方向で考えていましたが、どうしても大切な事業でもあるし、すごく魅力のある事業ですので、急遽冬休みに募集をしました。ですから冬休みもそんなに長くない期間で、急遽お願いしたために、数字的にはやむを得ないことがございました。おそらくその影響が大きかったと思います。

【西渕委員】13ページで、道徳が教科化されて評価を付けるということが、小学校は30年度から中学校は令和元年度から行われていると思いますが、この評価をつけることで何も問題はなく行われているのでしょうか。道徳に関してです。

【瀧川教育次長】道徳の評価に関して、今までみたいに数値でつけるのではなく。

【西渕委員】数値ではないのですね。

【瀧川教育次長】文書で。

【西渕委員】中学校も。

【瀧川教育次長】小学校も中学校も文書で、その子の特に道徳性が育っているところを担当がピックアップしてそれを書いて評価するという形になっています。

【西渕委員】ありがとうございます。53ページの徳島駅伝のことですが、選手の発掘育成に取り組んでいきたいと社会教育課の方も頑張っておられるのですが、これ学校教育課と連携して小中ぐらいから陸上を行える環境を整備しないと、今の状態では選手は育っていかないと思います。社会教育課ばかりに任せるのではなく小中から連携して育てていくという考え方が必要だと思います。長距離選手が少ないなか、特に女子選手の育成は重要課題です。こんな状況では参加も難しい状況が起こってくると思います。社会教育課だけに任すのではなく小学校から育てていくことを考えていく方が、個人的な意見ではありますがいいかと思います。61ページは初めて文化財のガイドブックが令和4年度にできると日程が入ったので、ものすごい進歩だと思ってうれしく思っています。ありがとうございます。

【伊坂社会教育課長】来年度発刊に向けて、今年度は文化財保護審議会委員さんと一緒に阿波市の文化財を回って、より良いガイドブックを作るため、巡回月が決まっております。9月8日、24日、10月22日、11月5日の4日間は決まっていますが、さらにもっと見たいという要望があったらまた2日間見ていくという予定を組んでいますので、来年度はこれぐらいのガイドブックができあがると思いますので、楽しみにしていただければと思います。

【大戸井委員】ちなみに吉野川市のは、たまたま2日前に文化財をネットで見れてPDFファイルで出てきたのですが、オールカラーで平成30年に作成していたのですが、例えば地図が出てきてその文化財がどこの地点にあるかみたいな。

【伊坂社会教育課長】非常に見やすい。

【大戸井委員】非常に見やすい、わかりやすい、大きく撮っていましたので、より良いものを、期待しています。

【伊坂社会教育課長】参考にそれ以上のものを作りたいと思います。またご指導をお願いします。

【大戸井委員】スポーツのことですが、実績ではないのですが、オリンピックで金メダルをとったスケードボードですが、みなさん知るところであったと思いますが、そういうようなものが例えば要望であがってきたら、要望は取り入れていくようなそういう動きとかは検討される余地はあるのでしょうか。

【伊坂社会教育課長】何が出てくるかわかりませんが、検討はしてみる価値はあると思いますので、何かあれば一緒に考えて協議していきたいと思います。

【大戸井委員】場所作るのにお金は要るかもわかりませんが、自分の道具にはあまりかけずにしかも世界レベルがたくさんいて、若者しかも子ども達がたくさんということで活性化につながると感じました。是非阿波市も取り組んでいただけたらと思います。

【高田教育長】森委員さん、どうでしょうか。

【森委員】去年は、コロナの関係でそれぞれの事業についてたくさんの方が頑張ってくれていたにも関わらず、中止ということで評価がおちたところもありますが、全体的によく頑張れていると思います。これからも工夫しながら進めていけたらというふうに思います。あと後ろの業績の指標一覧で、どこもかなり悪くなっているところも、やはりコロナの影響で、極端に悪くなってくるころが出てくるという感じがします。先ほどの話の中で、比較するのがその年度その年度で数値を出していったら、前の年度の違う対象と比較するようになるので、個人が経年変化を見るということも、庄野委員さんもおっしゃってい

ましたが、どうかなという気がしています。もしそれをするのであれば、また表現の仕方を変えないといけないので、それも無理なのかなという気もしますし、それから表の5-2家庭教育の向上、正しい生活リズムの定着と書いてあるのですが、朝食摂取状況の毎日食べるが減っています。これも比較の対象の問題もあると思いますが、やっぱりコロナの関係で感染しやすい、体のコンディションが悪い時の方が感染しやすい状況になってしまうのではないかと思うので、各学校にうがいとか手洗いとか換気とかに努力をしてくれていると思いますが、今一度家庭との連携で呼びかけていかなければという気もしております。以上です。

【高田教育長】「令和2年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」を承認する旨を告げる。

傍聴者退席

(3) 令和3年度教育委員会一般会計補正予算(第4号)について

(阿波市教育委員会会議規則第17条により秘密会)

(秘密会を解く)

【高田教育長】「令和3年度教育委員会一般会計補正予算(第4号)について」を了承する旨を告げる。

(6) 準要保護の認定について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【坂東学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「準要保護の認定について」を承認する旨を告げる。

【森友教育総務課長】追加提案を3件お願いいたします。

【高田教育長】別紙のとおり追加議案が3件提出されました。お諮りいたします。以上3件を追加し、直ちに議題といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

【各委員】はい。

【高田教育長】ご異議がございませんので、そのように決定いたします。議題といたします。

(7)阿波市教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する規則について

(8)阿波市教育委員会告示で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する告示について

(9)阿波市教育委員会訓令で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する訓令について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【森友教育総務課長】阿波市教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する規則について、阿波市教育委員会告示で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する告示について、阿波市教育委員会訓令で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する訓令について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「阿波市教育委員会規則で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する規則について」「阿波市教育委員会告示で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する告示について」「阿波市教育委員会訓令で定める申請書等の押印及び署名の特例に関する訓令について」を了承する旨を告げる。

(10) その他

【高田教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【瀧川教育次長】学校訪問・教育実習について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和3年8月23日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課主幹